



Kainan East Rotary

DISTRICT 266

CLUB WEEKLY BULLETIN

事務所 海南市日方1294 海南商工会議所内 TEL (07348) 2-4363

例会日 毎週月曜日 12時30分 ♣ 才1例会のみ 18時30分 於海南商工会議所4F

会長 柳川和一郎 幹事 宮田敬之佑 会報委員長 土岐甚五郎

才117回 例会 昭和52年11月28日(月) 於海南商工会議所

1. 開会 司会 柳川和一郎 会長

2. ロータリーソング 「Sing Everyone Sing」

3. 出席率 84.85% 会員総数 33名 出席者数 28名

前回修正出席率 93.94%

出席標語 「出席は自分のためなり、みんなのためなり、(土岐君)」

4. ゲスト 日本赤十字社和歌山県支部 事業課長 五前昇様

5. ビジター 牧野嘉宏様(有田R.C.) 津田算正様(和歌山R.C.)

笹本誠昭様(海南R.C.) 前窪芳貞様(海南R.C.)

和佐 勝様(海南R.C.) 柴川純三様(海南R.C.)

6. メイキャップ 中村雅行君(11/22 於和歌山R.C.)

7. 会長スピーチ

本日御報告すべきことは去る11月25日の理事会を開きまして、会員増強について職業分類の未充填を充すべく会員の皆様から御推薦いただいた方について選考いたしました。目下引きつづき選考中でございます。11月26日海南クラブと会長、幹事会を開きましたがお話しする様な重要事項はございません。

本日はこの后日赤の五前先生にお話を承ることになって居ります。御静聴をお願いいたします。

8. 幹事報告

○ 例会日時、例会場臨時変更通知

大阪心斎橋R.C. 12/16(土)→12/17(金) PM5:00~

於ロイヤルホテル桔梗の間

吹田R.C. 12/29(木)→12/27(火) PM12:30~ 於サニーストーンホテル

藤井寺R.C. 12/24(土)→12/18(日) PM5:00~ 於ホテルニューオーサカ

12/31(土)→12/27(火) PM6:30~ 従来通り

○ 会員名簿が参って居ります。1冊3,000円

○ 12/5(月)年次総会 於 初音

○ 12/26(月)海南R.C. と合同例会、ライオンズクラブ会長、副会長を招待の予定です。

9. 委員会報告

○ 環境委員会 坂上委員長

11月19日ロータリーバラ園へ約100本の苗木植付を完了しました。

10. 卓話 「奉仕について考える」 日赤和歌山支部 事業課長 五前昇様

日本赤十字が出来ましてから今年で丁度100年になります。平時に於ける赤十字というのは「愛による奉仕活動」という形でとらえられております。私も

SERVE TO UNITE MANKIND 全人類を結びつけるために奉仕せよ

赤十字に入って30年経ってみますと私自身も「奉仕」を抜きにして物事を考えられぬ位になっております。一般の人は「奉仕」することは当り前の様に思われておりますが、一部の人は「何故奉仕をせねばならないのか？」と切りかえして参ります。海南の黒江小学校は赤十字の奉仕活動を熱心にとり上げている学校の一つですが、活動の初期の時分にはごみ函、灰皿等に到る迄やたらべたべたと赤十字のマークをつけておりましたが、最近学校へ行ってみますと赤十字のマークが見当りません。私は「やっとなんか奉仕活動も定着したなあ」と考えます。

或る人は盲人に話をする時には、そっと両手で盲人の掌を包んで話をなさいと私に教えてくれました。そうすれば相手は安心感を以て貴方の話を聞くでしょう。とあれやこれやを考え合せている時、NHKの鈴木アナウンサーにこういう話を聞いたことがあります。或るPTAで「貴方の子供さんをどういう人間に育てたいか」というアンケートに対して、実に92%のお母さん方が「他人に迷惑をかけない人に育てたい」という答でした。しかしこれだけでは奉仕の考え方が生れて来ません。「人に迷惑をかけず、自分が人に対して何が出来るかを考え銘々の自由を守って行く」ところに奉仕に対する考え方が生まれてくるのだと思います。有名なカントの言葉に「其処に人間として成さねばならぬ義務があるから成さねばならぬ」というのがあります。赤十字の発生はスイスのアンリー・ジュランという人が1859年にイタリアの北部の晋仏戦争の戦場を通りかかった際に赤十字を思いついた事からです。ちなみに赤十字のマークは創始者ジュランの生国スイスの国旗の逆マーク、白地に赤十字を採用したと言われております。

この「人に迷惑をかけない」と云う発想は日本で過去20年間に農村地より、都心部へ実に3,000万人が移動しました。これは歴史上民族の大移動と云われるゲルマン民族の大移動が10万人であったのに比較して、実に300倍もの人間が移動したことになります。この3,000万人が生国でない都会でひしめて生活するためには「人に迷惑を掛けない」という発想になったのだと思います。十年程前私は或る会合で個人で出来る奉仕活動であります「献血」について話をしたことがあります。そして献血の重要性を説いた後、献血の希望者を募ったところ何と600人の聴衆中たった9人が申し出でこられただけでした。其程奉仕ということを行動に移す場合は勇気の要る事です。身を以って行動を起すということは難しいことだと思います。私はお話をするとすることはわかっていただいて、行動に移していただくところ迄持って行かなければならないと理解して話をしております。奉仕ということは綺麗びやかな自己満足をとまなう行動ではありません。常に奉仕について謙虚に考え必要な時に何時でも出来る態勢を整えて置いて、そして何の気なしにポンと出る行動が奉仕であろうと思います。この民主社会をより良くして子孫に残すために常に考えを続けねばならぬと思います。



BOX

片山博之君（息子が海南海草中学校駅伝に於て一位となりました）
西岡 豊君（海南一中PTA会長の立場から駅伝一位を祝って）

米山 BOX

田岡啓一君（先般避地診療で大島へ行きました。旅費の残りを寄附させていただきます）

次回例会案内 118 昭和52年12月5日（月）PM 6:30～ 於 初音
クラブ年次総会

奉仕……それは感謝の気持から
奉仕するために出席せよ

才 266 地区ガバナー 菅 生 謙 三
1977～78年度会長 柳 川 和 一 郎